

編者附言  
原書  
満洲國內政子存様本  
法令手帳  
在り

寫

(分類 A3.5.0.6-5)

昭和12 三一三八二 暗 新京 十二月二日後發  
本省 二日夜着 植田大使  
廣田外務大臣  
第一一九八號  
英發貴大臣宛電報第九二八號ニ關シ  
不取敢左ノ通り

一 滿洲國ハ十月二十一日外國法人法ヲ公布シ同法ハ十二月一日ヨリ  
在滿日本法人ニモ適用アルコトトナリ當然第三國法人ニモ適用セ  
ラルルコトトナリタル處同法第一條但書ハ滿洲國內ニ於テ事業ヲ  
營ムヲ主タル目的トスル外國營利法人ハ滿洲國法人ニ改組スヘキ  
旨ヲ規定シ同第三條ニ於テハ外國營利法人ノ支店ハ滿洲國ニ登記  
スヘキ旨ヲ規定ス依テ滿洲國內ニ本據ヲ有スル滿洲國商社ハ十二  
月一日以降滿洲法人ニ改組スルヲ要スルコト勿論トスルモ右手續  
ヲ履ムニ於テハ營(業?)ヲ認メラルヘシ

又支店ニ付テモ登記ヲ了スレハ同様ナリ尙滿洲國ニ於テハ明年一  
月末迄ニ改組又ハ支店登記ヲ爲スモノニ對シテハ改組ニ伴フ登記  
料其ノ他ノ税金、手数料ヲ免除スル方針ナリ  
ニ「ラヂオ」ニ付テハ一般的ニ輸入禁止ヲ爲シ居ラサルモ傍聽其ノ  
他治安ノ關係上短波放送受信器ニ付テハ輸入者ノ身許ヲ嚴重調査  
シタル上事實上制限措置ヲ執リ居レリ  
三 外國映畫輸入禁止ノ事實ナシ右ハ最近滿洲國ニ於テ宣傳啓發等ノ  
目的ヲ以テ滿洲映畫協會(株式會社)ヲシテ映畫ノ輸入配給ヲ獨  
占セシムルコトトセルニ對應シ米國系配給業者ノ一部ニ於テ滿洲  
國ニ對スル配給ヲ拒否シツツアルヲ誤傳セシモノト思ハル  
四 英國新聞輸入ヲ禁止セル事實ナシ尤モ時局關係ヨリ一般ニ輸入出  
出版物ノ檢閲力嚴重トナリタルハ當然ナルヘク尙目下出版物取締法  
制定中ニシテ右法令ニ於テ外國新聞ノ輸入ヲ許可主義トスヘシト  
ノ意見一部ニアリ(此ノ點ハ極秘ノ御含迄)

外務省

外務省

0344

0343

尙爲替管理法ノ關係上不急不要品ノ輸入ニ付テ許可ヲ得ルニ一般的  
困難アルハ當然ノコトナリ爲念（了）

外  
務  
省

13-6

0345

REEL No. A-0422



アジア歴史資料センター

東亞局第三課  
情報部  
調査部  
門3類5項0目6-5

機密第一一五號

昭和十三年三月二十三日

在獨

特命全權大使 東 郷 茂

外務大臣 廣田 弘 毅 殿

在「ハルビン」露字紙發行停止ニ關スル件

本使發在「ハルビン」鶴見總領事宛拙信諸機密第二六號寫茲ニ送付

本信寫送付先 大臣、在滿大使

記 13.6.2 録

查調 13.6.5 課三

395

昭和十三年四月廿五日接受

情報部

別紙添付

在獨日本大使館

0346

諸機密第二六號

昭和十三年三月二十三日

在獨

特命全權大使東 郷 茂 徳

在ハルビン

總領事 鶴 見 憲 殿

在「ハルビン」露字紙發行停止ニ關スル件

「ナチス」黨部ノ後援ニ依リ反共産工作ニ關スル研究ヲ爲シ又反共産半月刊通信ヲ發行シ居レル當地「アンテイ、コムミンテルン」協會本部（本協會活動振ノ一班ニ付テハ往信合第二二號御参照アリ度シ）ヨリ當館宛書翰ヲ以テ在「ハルビン」露字紙「ナ―シ、ブチ」

在獨日本大使館

0348

ガ本年二月一日ヨリ發行ヲ停止スルニ至レルハ滿州國政府側ニ依ル何等措置ノ結果ト認メラルル處如何ナル理由ニ基クモノナルヤ了解ニ苦シムモノニシテ六年ニ亘リ反共ノ爲ニ戰ヒ且唯一ノ親日的露字紙ナリシ同紙ノ發行中止ハ遺憾ニシテ之ニ依リ世界ニハ「ソ」聯内ヲ除キテハ日刊露字紙ハ猶太人ノ手中ニ在ル反日獨的ナル二紙ヲ殘スノミトナレリ日獨防共協定ガ調印セラレタル今日斯ル事實ヲ見ルハ遺憾ニシテ右措置ガ臨時的ナルモノナルコトヲ希望スル旨申越セリ就テハ當方參考迄ニ本件實情御回報相成度

本信寫送付先 大臣、在滿大使

在獨日本大使館

0347

歐亞局  
東亞局

三三

分類 2.3.5.0.6-5 (7)

情報部

第一課

機密第一一〇號

昭和十三年三月二十三日

在奉天

總領事代理 吉村 男 也

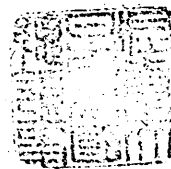
外務大臣 廣田 弘毅 殿

昭和十三年三月二十三日附  
機密第一四九號  
在滿大使宛往信寫送付

件名

滿洲日々掲載漫畫ニ關シ在奉天獨逸國領事ヨリ申出ノ件

記録  
各國ニ於テハ新聞雜誌取譯ヲ係  
別 綴 添 付 九 日 接 受



在奉天日本帝國總領事館

349 0349

機密第一四九號

昭和十三年三月二十三日

在奉天

總領事代理 吉村 男 也

在滿洲國

特命全權大使 植田 謙吉 殿

滿洲日々掲載漫畫ニ關シ在奉天獨逸國領事ヨリ申出ノ件

本月十五日附滿洲日々新聞第一一四九〇號（三月十四日發行夕刊）第一頁冒頭ニ「ヒトラー」總統ニ關スル漫畫掲載セラレタル處右ニ關シ在奉天獨逸國領事ヨリ同十五日附書翰ヲ以テ獨逸國元首タル「ヒトラー」總統ニ關シ極メテ不快ノ漫畫ヲ掲載セルハ獨逸人ノ感情

在奉天日本帝國總領事館

別紙添付

0350

ヲ甚シク害シ且兩國間友好關係ヲ増進スル所以ニ非サルニ付當該新聞社ニ注意方取計ハレ度旨別添寫ノ通申越有之右申出ハ尤ノ儀ト被認ニ付當館ニ於テハ直ニ滿洲日々奉天支社（同紙ハ客年十二月奉天ニ本社ヲ移セルモ目下建築中ノ社屋落成迄從來通大連ニ於テ編輯發行セラレ居レリ）ニ對シ嚴ニ注意ヲ與フルト共ニ同社ヨリモ在奉天獨逸國領事ニ適當釋明スル様態恣ニ置キタリ尙日滿獨伊四國間ノ友好親善關係ヲ強化スルノ必要アル此際本件ノ如キ不穩當ノ漫畫等ヲ掲載シテ在滿盟邦國人ノ感情ヲ刺戟スルハ面白カラサルニ付管内各紙ヲシテ今後此種過誤ヲ再發セシメサル様奉天警務廳長、特務機關長及憲兵隊長ニモ可然取締乃至指導方依頼セリ

右報告申進ス

在奉天日本帝國總領事館

0351

追テ滿洲日々奉天支社ニ於テハ當館ノ注意モアリ即日社員ヲ派シ  
本件カ全然善意ノ過失ニ出テタル旨在奉獨逸國領事ニ釋明シ諒認  
ヲ得タル趣ナリ

本信寫送付先 外務大臣

在奉天日本帝國總領事館

0352

Deutsches Konsulat

Mukden, March 15th, 1938.

Sir and dear Colleague,

The Japanese Newspaper "Manshu-Nichi-Nichi" of to-day, Nr.II490, on its front page has printed a caricature of the F u e h r e r which is indeed repulsive and offensive.

I should be much obliged to you if you would let the Chief Editor of the paper know that Reichsfuehrer Adolf Hitler is not to be regarded as a mere politician or as a minister of state, but that he is the sovereign of the German Reich. As such he should not be made the object of caricatures and misrepresentations by the press. By printing caricatures as the one of to-day, German feelings are deeply hurt and the good relations between our two countries can not be said to be promoted in this way.

Thanking you for your kind assistance

I have the honour to be,

Sir and dear Colleague,

Your obedient Servant

Consul for Germany.

O. Yoshimura, Esquire

Acting Consul General for Japan,

M u k d e n.

0353



電信課長

大臣  
次官

東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文化  
調查  
人事  
儀典  
文書  
會計  
會社  
秘書官

寫  
送  
先

昭和13 一四〇三七 暗

新京 五月十九日後發  
本省 十九日夜着

亞

廣田外務大臣

植田大使

第三二三號ノ一

貴電第五一六號ニ關シ（滿洲國治安部派遣員ノ下關、大連駐在ノ件  
一、大連ニ在リテハ治安部ノ外ニ現ニ外務局、産業部、交通部等ヨリ  
モ各派遣員ヲ駐在セシメ接境地帯トシテノ必要ニ基ク聯絡ニ當ラ  
シメ居リ嚴格ニ言ヘハ是等派遣員ノ「ステタース」ニ付テモ同様  
正式ノ手續ヲ執ラシムルノ必要アリト思考セラルルモ同地ニ關シ  
テハ複雑ナル從來ヨリノ關係モアリ一括シテ後日ノ研究ニ讓ル方  
可ナルヘシ

外  
務  
省

0354

外國ニ於ケル新多種誌取締委員會  
外務省  
記

ニ下關ニ關シテハ現ニ哈爾濱ニ我方内務省派遣員駐在シ居リ治廢後

モ依然内務公館ナル看板ヲ掲ケ居ル等ノ事實アルニ鑑ミ（證議立  
スレハ他ニモ同様ノ事例出テ來ルヤモ知レス）滿側ニノミ片務的  
ニ我方ノ承認ヲ求メシメ而モ之ニ對シ我方ヨリ條件ヲ附シテ承認  
ヲ與フルコトニ付テハ滿側ニ相當強キ異議アリ且本件治安部派遣  
員ハ其ノ事務モ新聞檢閲ニ關スル單ナル事實上ノ聯絡ニ過キス看  
板ヲ掲クルノ意思モナク況ンヤ課稅上ノ特權等ヲ要求セントスル  
考ノ如キ全然ナキ次第ナルヲ以テ單ニ駐在員派遣ノ事實ヲ我方ニ  
通告スルヲ以テ足レリトノ見解ヲ固持シ居リ日本側ヨリ例ヘハ派  
遣員ノ電報ヲ官報トシテ取扱フ等ノ何等カノ便宜乃至利益ノ供與  
ヲ得サル限リ我方ノ承認ヲ求ムルコトハ妥當ナラスト爲シ居レリ  
（續ク）

外  
務  
省

0355

電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 人典 儀典 文書 會計 祕書官

寫送先

昭和13 一四〇三八 暗 新京 五月十九日後發 亞

本省 十九日夜着

廣田外務大臣 植田大使

第三二三號ノ二

三、右ニ對シ當館トシテハ滿側ヨリ簡單ニ下關ニ派遣員ヲ駐在セシメ  
新聞檢閲上ノ聯絡ニ當ラシメ度キニ付御承認相成度キ旨公文ヲ以  
テ申越サシメ我方ヨリハ右承認スル旨簡單ニ回答シ冒頭貴電御來  
示ノ條件等ハ承認ノ條件トセス口頭ヲ以テ約サシメ我方ヨリモ派  
遣員ニ對スル便益供與方ニ盡力スヘキ旨ノ口約ヲ與フル仕組ヲ以  
テ妥結スルノ試案ヲ以テ一應滿側ヲ納得セシメ置キタルカ本件ハ  
場合ニ依リテハ相當鏈レ出ス惧アルニ付飽迄承認ヲ要ストノ御意

外務省

0356

認

嚮ナラハ前記事情御賢察ノ上此ノ程度ニテ解決スルコトト致度シ  
何分ノ儀御回訓ヲ仰ク(了)

外務省

0357

電信課長

大臣

次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文書 調查 儀典 文書 會計

寫送先

昭和13 一六九六八 暗

新京 六月十五日 後發  
本省 十五日 後着

亞

宇垣外務大臣

第四〇四號

植田大使

A 3.5.0.6-5

貴電第五七一號ニ關シ（滿洲國治安部派遣員ノ下關、大連駐在ノ件）  
往電第三二三號（一）ノ通り取計フヘク往復文書郵送ス  
尙往電第三二三號（一）ノ點ニ付テハ對滿事務局ヲ通シ貴方ニ於テ御研  
究相成様致度シ（了）

外國駐在員對滿事務  
防務部

0358

外務省

照  
合  
票

枚  
第  
五  
六  
二  
號

記  
錄  
件  
名

昭  
和  
十  
三  
年  
七  
月  
八  
日

發  
信  
者

在  
哈  
爾  
濱

鶴  
見  
總  
領  
事

受  
信  
者

在  
滿  
州  
國  
植  
田  
大  
使

件  
名

在  
米  
反  
日  
系  
露  
字  
紙  
ト  
当  
地  
白  
系  
露  
人  
ト  
関  
係  
ニ  
于  
ス  
ル  
件

原  
書  
ハ  
左  
記  
ニ  
在  
リ

記

A  
門  
子  
類  
5  
項  
0  
目  
子

號

外  
國  
新  
聞  
雜  
誌  
于  
添  
雜  
纂

(分類 A 3.5.0.6-5 )

0359

奉旨



分類 3.5.0.6-5

情報部

公領機密第一二二號

昭和十四年二月二十日

第三課長

別紙添付

昭和十四年二月廿七日接受

在 哈 爾 濱

總領事代理 谷 口 卓

在 滿 洲 國

特命全權大使 植 田 謙 吉 殿

日滿新聞及露字紙ノ反波蘭的記事掲載ニ關スル件

本件ニ關シ今般駐哈外務局特派員ヨリ二月十六日附同局長官宛秘第一  
五七號公信寫送付越セルニ付何等御參考迄別添ノ通進達ス

本信寫送付先

外 務 大 臣

0360

寫

秘第一五七號

康徳六年二月十六日

駐哈爾濱外務局特派員  
下村信貞

外務局長官 蔡 選 升 殿

日滿新聞及露字紙ノ反波蘭的記事掲載ニ關スル件

二月十五日ポーランド領事リテフスキ本官ヲ來訪シ最近二、三ヶ月  
滿洲國ニ於ケル日滿新聞ニ兎角反ポーランド的記事ヲ見受クルハ兩國  
國交ノ爲遺憾ナルヲ以テ適當ノ措置ヲ採ラレ度旨要請シ各種新聞ノ切  
抜ヲ呈示シ(ウタライナ問題、獨波關係、ソ波關係等ニ關スルモノ多  
キカ殊ニ露字紙ザリヤ(ユダヤ系)カ最モ反ポーランド的ナル模様ニ  
テリハ法王十一世逝去ニ關シテモ露字紙ザリヤカ法王トポーランドト

0361

カ恰モ惡關係ニアリシカノ如ク誣ヒ居ルヲ特ニ指摘セリ)同時ニポー  
ランド本國發行ノ新聞グラフ等ヲモ呈示シ日滿ニ關シ如何ニ好意的ニ  
編輯サレタルヤヲ強調スルトコロアリタリ當方ハ右ハソ波不可侵條約  
ノ復活ニ關シ一般カ其真相ヲ知ラサル爲乃至之ヲ不滿トシテ生起セル  
現象カトモ思ハルルカ兎モ角一應調査ノ上貴申出ヲ傳達スヘキ旨答ヘ  
ラケリ

右報告ス

本信寫送付先

日領 哈機  
哈憲 哈警

0362

2



歐亞局

公領機密第一三四號

昭和十四年二月二十七日

在 哈 爾 濱

總領事代理 谷 口 卓

在 滿 洲 國

特命全權大使 植 田 謙 吉 殿

在哈「ウクライナ」居留民會發行「ダリヨーキー」。  
スヒツド」誌ノ記事ニ關シ波蘭領事申出ノ件

本件ニ關シ今般駐哈外務局特派員ヨリ二月二十三日附同局長官宛秘第一六六號公信寫送付越セルニ付何等御參考迄別添ノ通進達ス

本信寫送付先

分類 13.5.0.6-5

東亞局  
本有

第一號

別紙添付

各國新聞雜誌  
本館于爲抄録  
昭和十四年正月四日 接

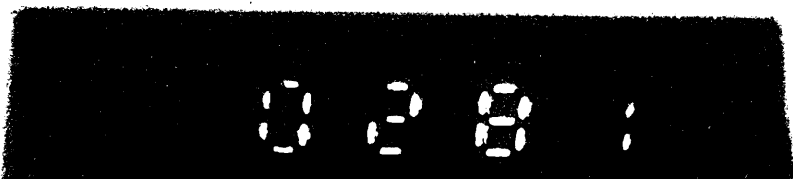


二 拾

U363

外務大臣  
在波大使

U364



秘第一六六號  
康德六年二月二十三日

駐哈爾濱外務局特派員  
下村 信貞

外務局長官  
蔡 運 升 殿

在哈ウクライナ居留民會發行ダリヨキー・  
スヒツド誌ノ記事ニ關シ波蘭領事申出ノ件

二月二十三日波蘭領事リテフスキー當署員ヲ來訪シ本件ニ關シ在哈ウ  
クライナ居留民會發行（編輯者ロイ氏ノ（二月二十日附）ニ係ルダリ  
ヨキー・スヒツド誌ハ滿側官憲ノ檢閲下ニ於テロニスルヲ憚ル底ノ  
波蘭誹謗記事ヲ掲載シ居リトテ「ウクライナハ波蘭ノ占領下ニ在リ」

0365

等ノ記事ヲ例示シタル上現下ノ日滿波親善關係ニモ言及シ滿側ノ注意  
ヲ喚起スルト共ニ右嚴重取締方要請スル旨述ヘタルニ付當方ハ一應調  
査スヘシト答ヘ置ケリ  
右報告ス

本信寫送付先

哈機、日領、  
濱警、哈警、哈憲

0366



電信課長

大臣

次官

澤田

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文部 調查 人事 儀典 文書 會計 秘書官

寫送先

中

分類 195.0.6-5

昭和14 九一〇三 暗

哈爾賓 三月廿七日後發  
本省 廿七日夜着

有田外務大臣

谷口總領事代理

第六三號

貴電第三六號ニ關シ（在哈爾賓新聞取締ニ關スル件）

詳細取調ヘタル處同紙（露語名「ダリヨウキ、スピード」）ノ現  
狀及官憲ノ取扱振大要左ノ通り

一、同紙ハ在極東八〇萬ノ「ウクライナ」人ヲ目標トスト言フモ其ノ  
發行部數一千乃至二千ノ雜誌ニシテ大シタモノニアラス

二、同紙ノ編輯人「フヨドロフ」主筆「シエレンディング」ハ極端ナ  
ル「ウクライナ」獨立主義者ニテ常ニ波蘭其ノ他ノ惡口ヲ掲載シ

ハルビン新聞取締ニ關スル件  
澤田

外務省

0367

滿側官憲ノ屢ノ注意ニモ拘ラス滿側當局ノ檢閲ヲ無視シ抹殺事項  
ヲ再三掲載シタルニ付最近ハ實際上發行禁止ト同様ノ處分ヲ受ケ  
目下ハ發行不能ノ狀態ニ在リ、委細郵報（了）

外務省

0368



電信課長

大臣  
次官  
澤田

東亞  
歐亞  
米洲  
通商  
條約  
情報  
文報  
調查

秘書官

寫送先

分類 13.5.0 6-5

昭和14

一〇一〇五 暗

維納 四月三日後發  
本省 四日前着

情

有田外務大臣

山路總領事

第二四號 (極秘)

貴電第九號ニ關シ (在哈爾濱新聞取締ニ關スル件)

對蘇政策上ヨリ各種謀略ノ必要益々切ナルモノアル此ノ際極東ニ於ケル「ウクライナ」問題ニ付テモ積極的ニ働キ掛ケル要アルヘク此ノ意味ニ於テ本紙關係者ノ如キモ適當ナル方法ニ出來ル丈ケ利用指導スルコト大局上得策ナリト思考セラル (白系露人ニ付テモ亦然リ獨逸側力蘇政權打倒ノ大目標ニ向ヒ總ユル工作ヲ爲シツツアルニモ鑑ミ右何等御參考迄 (了))

外國新聞社  
新聞部  
四月三日  
午後  
四時  
前着  
山路總領事  
山路總領事

0369

外務省



電信課長

大臣  
次官

東亞 歐亞 米洲 通商 條約 情報 文化 調查 人事 儀禮 文書 會計 秘書官

寫送先

門類	項目	號
文書	17	214
會計	6	211
秘書官	2	211

人事 儀禮 文書 會計 秘書官  
 本信高挿入先  
 局上得策ナリト思考セラル(白系露人ニ付テモ亦然リ  
 權打倒ノ大目標ニ向ヒ總ユル工作ヲ爲シツツアルニモ  
 參考迄(了)

昭和14 一〇一〇五 暗 維納 四月三日後發 本省 四日前着 情

有田外務大臣 山路總領事

第二四號 (極秘)

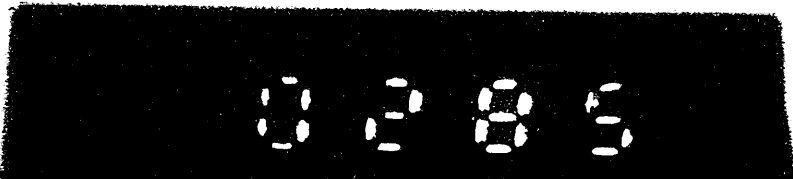
貴電第九號ニ關シ(在哈爾賓新聞取締ニ關スル件)

對蘇政策上ヨリ各種謀略ノ必要益々切ナルモノアル此ノ際極東ニ於  
 ケル「ウクライナ」問題ニ付テモ積極的ニ働キ掛ケル要アルヘク此  
 ノ意味ニ於テ本紙關係者ノ如キモ適當ナル方法ニ出來ル丈ケ利用指

外務省

0369

外國  
 歐洲  
 新聞  
 記事  
 抄録  
 送付  
 件







請願部

第一課長

第二課長

普通第九一號

昭和十五年三月十四日

別紙添附

在山海關

副領事 小坂部



第三課長

外務大臣 有田 八郎 殿

出版物「レコード」「フィルム」輸出入  
統計表提出ノ件

當山海關滿洲國々境警察署及全國稅關ニ於テ二月中取扱ヒタル「レ  
コード」「フィルム」輸出入ニ關スル諸統計別表ノ通ニ付此段報告  
申進ス

本信寫送付先

在支大使（北京）、天津總領事、在滿大使

在山海關日本領事館

15.5.0.6-5

0373

記

15.3.22  
殿

輸 入										輸 出										別 入 出				
日	英	米	佛	獨	中	印	荷	日	其	俄	和	瑞	佛	米	英	荷	中	日	其	名 國	行 發			
2080																						紙 聞	新 刊	
3326																							誌 雜	普 出
7443																							通 物	版 出
1650																							政 外	經 緯
1733																							新 刊	普 通
609																							教 育	宗 教
390																							事 業	軍 用
3400																							學 工	醫 術
5045																							藝 文	小 説
5656																							他 類	其 他

出版物輸出入統計表 (二月台)

0374

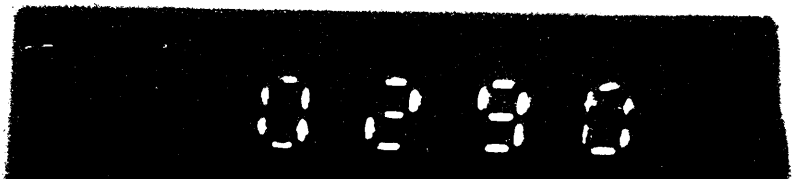
製造国名	輸出			輸入		
	件数	米数	巻数	件数	米数	巻数
日本	四三件	一七九七担米	三二〇	四六件	一三四〇担米	三三八
滿洲	一三件	五二七〇米	二二	二件	六三九米	三
計	四五〇件	一八三二四担米	三四二	四七件	一三三〇担米	三四一

活動写真フィルム輸出入統計表(三月份)

輸出入別	輸出			輸入		
	件数	米数	巻数	件数	米数	巻数
日本	九八一	二五九	二一	一九	八四	六八
中国	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八
米国	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八
英国	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八
滿洲	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八
其他	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八
計	一一九	三八	四四	二一四	六〇	六八八

活動写真フィルム輸出入統計表(三月份)

0375





亞細亞局長

第二課長

別紙添附

秘

秘第一一五九號

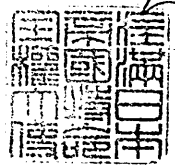
昭和十七年十月十九日

昭和十七年拾月廿六日接票

弘報部長

在滿

特命全權大使 梅津 美治郎



外務大臣 谷 正之 殿

哈爾濱ニ於ケル「カトリック」月報刊行  
復活方ニ關シ羅馬法皇應申出ノ件

本件ニ關シ今般外交部政務司長ヨ 同司長發總務廳弘報處長宛公  
信寫送付越セルニ付何等御參考迄此段送付ス

分類 13.6.0.6.8

在滿日本帝國大使館

五六  
17.10.28  
庶務

0376

康德九年十月九日附外交部政務司長發總務廳弘報處長宛公信寫

哈爾濱ニ於ケル「カトリック」月報刊行  
復活方ニ關シ羅馬法皇應申出ノ件

首題ノ件ニ關シ今般駐滿羅馬法皇應ヨリ哈爾濱ニ於テ刊行セラレ  
居タル「ヴィザンチン・スラブ」系「カトリック」信者ノ機關誌  
「カトリック」月報ハ藝頃當局ヨリ廢刊ヲ命セラレタルカ右月報  
ハ東亞ニ於ケル唯一ノ露字誌ニシテ法皇應トシテハ繼續的刊行ヲ  
熱望シ居ル處滿洲ニ於テ特別ノ廢刊理由無之ニ於テハ之カ復活方  
特ニ御配慮願度又月刊不可ナレハ二ヶ月一週ニテモ莫存ナキ趣ヲ  
以テ要望越セルニ付テハ委曲右ニテ御知悉ノ上刊行復活ノ可否ニ  
關シ何分ノ儀御同示相煩度

本信寫送付先 哈特員

關東軍第二課長、駐滿日本大使館一等書記官  
關東憲兵隊司令部警務部長、治安部警務司長

在滿日本帝國大使館

0377

極秘

大臣  
次官

顧務問 政務約 戰事查 條約事 儀典事 文書計 會計書 秘書官 弘報官 戰務調

寫送先

電信課長

昭和19 六〇七一〇 暗 新京 七月三十一日 西發 本省 三日一六函 着 政

重光外務大臣

梅津大使

第一五五號 (至急)

(國境調書刊行ニ關スル件)

賈電第二六九號ニ關シ

外交部ニテハ矢野博士ニ對シ極秘ノ取扱トスルコトヲ條件トシ特ニ資料ヲ貸與セルモノナル處之ヲ公開スルコトニ關シ同博士ハ何等外交部ノ了解ヲ得居ラサル由ナリ尙大連ニ於テ本件著書ヲ差押ヘルト共ニ滿洲國ニ於テモ發賣禁止處分ニ附スル據關係機關ニ連絡措置セリ(了)

0378

外務省

極秘

大臣  
次官

顧務問 政務約 戰事查 條約事 儀典事 文書計 會計書 秘書官 弘報官 戰務調

寫送先

電信課長

昭和19 一〇四六四 暗 新京 七月十日 五二〇發 本省 十一日〇五三〇着 政

重光外務大臣

梅津大使

第一六五號 (至急)

(國境調書刊行ニ關スル件)

往電第一五五號ニ關シ

一、外交部ニ於テハ八日本書接到セルヲ以テ直ニ詳細檢討セル處實見ノ通り將來ヲ對蘇交渉上極メテ不利ナルモノト認メ眞方ニ於テ未回収部分ヲ徹底的ニ調査ノ上押收方取計ハレタキ旨依頼越セリ尙未回収部分アラハ御回電相煩度シ  
二、冒頭電ノ通り著者ハ何等外交部ノ了解ヲ求メスシテ無斷發表セ

0379

外務省

極秘

電信寫

ルモノナルニ付著者ニ對シ外交部ヨリモ書面ヲ以テ嚴ニ注意ヲ  
喚起スル意嚮ナルカ日本側ニ於テ同人ノ不信ニ對シ然ルヘキ處  
置(滿側ニ於テハ刑事問題トスルモ異存無シ)ヲ希望シ居レリ

(了)

外務省

0380

外機密

分類 13.5.2.5-5

九二九〇 暗 昭和十九年七月十四日 後七時發 政三

在滿 梅津大使

重光外務大臣

調書刊行ニ關スル件

第二九五號

往電第二九〇號ニ關シ

本件ニ付テハ慶應英教授(外務省囑託)モ當初ヨリ心配シ居レル  
處回收狀況不良ナルニ鑑ミ同教授ニ於テ詳細檢討ノ結果滿側トシ  
テハ本件著書カ蘇側ノ手ニ入りタルモノトシテ速ニ新シキ對策ヲ  
建テ置クコト必要ナリト思考スル旨申出テタルニ付右滿側へ御傳  
達相成度尙同教授ヨリモ意見書提出ノ筈ナリ

0381

外機密

電信寫

總 番 九 八 二 八	符 號 暗	昭 和 十 九 年 七 月 廿 五 日 後 六 時 卅 分	主 管 政 三
----------------------------	-------------	---	------------------

在滿 山田大使

重光外務大臣

調書刊行ニ關スル件

第三一三號

付電第二九〇號ニ關シ

現在迄判明セル圖收數ハ一、二八二他ニ所在明カナルモノニ六ア  
ルモ結局一、六八六ハ未回収ニシテ之以上ハ見込薄ナリ

△ 0382